



日本医療機能評価機構認定病院 公立山城病院新聞 YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元 公立山城病院
発行元責任者 中埜 幸治

謹賀新年



年頭のご挨拶

院長 中埜 幸治

「明けましておめでとうございます。」

昨年は当院開院60周年を向かえました。昨年10月7日、秋晴れの日に開院60周年記念事業として、「いずみホール」で記念式典を行いました。また、病院玄関に記念植樹と駅前西口広場にて、イベント実行委員会（あすなる会）の会員と当院職員とで構成、イベント事業の企画・運営）による「楽器演奏」や「健康フォーラム」などの多くの催しが行われ、多数の住民が参加されました。ところで、病院機能をさらに向上するには優秀な人材（とくに、医師・看護師）を増員することが必要です。そこで、60周年記念事業の一環として「病院名称の変更」を決定、構成市町村の住民と当院を利用された方からの新病院名公募を行いました。その結果を踏まえ選考委員会で審議・検討し、新病院名を「京都山城総合医療センター」と決定、当日の記念式典とイベント会場で公表しました。

次に、「公立山城病院第二次経営計画（改革プラン）」の策定内容と進捗状況を簡単にお話し

す。これまで以上に「良質な医療を地域住民に提供する」という主旨で、「改革プラン」を昨年2月に策定しました。当面の取り組みは、1. 医師・看護師等のマンパワーの継続増強と、2. 中核病院として求められる主要な医療機器等の更新・整備を集中的に行うことです。これらが十分に進捗しますと、「医療機能の強化」により、「重症管理病棟の設置」や「断らなくて済む救急医療体制」が実現でき、さらに「連携診療システム」の整備」として、「在宅医療の後方支援」や「山間部診療所への診療支援」などが出来てきます。昨年5月には「病院施設の整備」の一環として、電子カルテの更新を済ませ、医療機器の計画的整備も徐々に進展しています。



今年も地域との絆を大切にしながら、明るい、生きがいのある地域医療の構築に邁進してまいりますので、皆様のご理解、ご協力を節にお願致します。

病院新名称「京都山城総合医療センター」 選考の経緯について

病院新名称は、構成市町村にお住まいの方及び当院を利用いただいている方々に、7月1日から20日までの間公募をさせていただきました。その結果393通のご応募をいただきました。選考にあたり公正かつ慎重を期すため、病院の設置者であります構成市町村の長、組合議会の代表、医師会の代表、関係行政機関の長、病院幹部職員等の合計22名で構成された選考委員会を設置し、以下の3点を論点として検討をいたしました。

1. 名称中に「公立」を入れるかどうか。
2. 病院の立地場所、特に「京都」を入れるかどうか。また、入れるとした場合、南部地域に立地している事を表すか否か。
3. 「病院」とするか、それとも「医療センター」とするか。

議論を重ねられた結果、病院の開設者である管理者団から候補名称の絞り込み及びその為の論点整理について検討をしていただくこととなり、後日応募の中から複数の名称が選択され選考委員会に報告されました。更に決定に際しては、①診療科の数、医師数、医療機器整備の水準など、医療提供内容を推測してもらえる名称か否か。②『府下トップレベルの医師陣を確保し、中核病院にふさわしい病院の指定や施設基準の取得を行い地域全体の医療充実への貢献を目指す』という当院の将来ビジョンを踏まえた名称か否か。について議論する必要があるとの意見が付与されました。

選考委員会としては、管理者団の報告内容について各委員からの意見を求め、自由に意見交換をしていただいた、1. 京都山城総合病院 2. 京都山城総合医療センター 3. 京都山城病院 4. 京都山城医療センターに加え、応募のあった名称から選考委員が特に推薦する名称の提案も含め、5点について選考委員全員で投票した結果、今回発表された「京都山城総合医療センター」に決定いたしました。

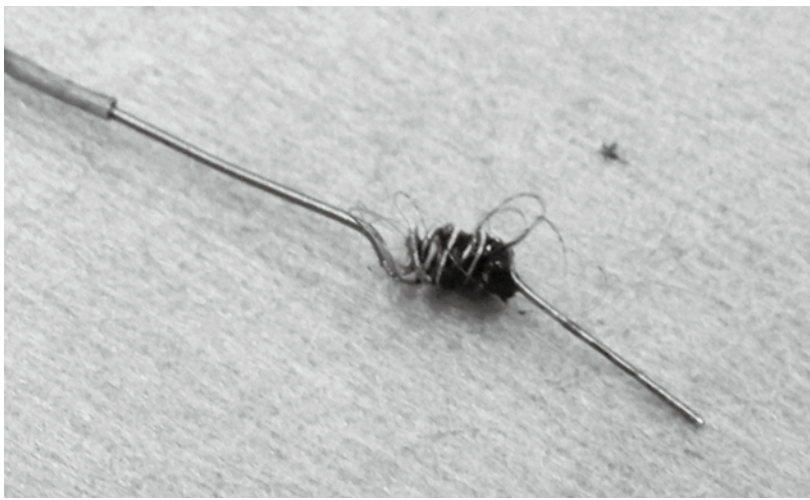
なお、この名称にするにあたり、京都府行政当局の特別の承認を得て、当名称を新名称とすることになりました。



「脳梗塞の超急性期治療 〜特にカテーテル治療について」

30 数年前まで日本で最大の死亡原因であった脳卒中は、治療法の進歩などにより 2011 年には死亡数では癌、心疾患、肺炎に次ぎ、第 4 位となっています。しかし、死亡率はさがったものの、現在でも入院を要する患者数としては第 1 位で、また後遺症を残しやすい疾患であることから、要介護原因の 1 位です。この怖い脳卒中で命を落とさない、更には後遺症なく治るためには超急性期の治療が極めて重要です。今回は脳卒中の 60% 以上を占める脳梗塞の超急性期治療につきご紹介いたします。

脳梗塞は脳の血管が詰まり、脳に血が流れなくなることにより起こります。そこで最も効果的な治療は詰まった血管を早く再開通させることです。2005 年から行われている t.P.A (ティピーエー) 血栓溶解療法は画期的な治療です。



Merci リトリーバーと回収された血栓

t.P.A という薬剤を静脈注射することにより詰まった血管を再開通させます。うまくいけば症状が劇的に改善します。このように簡便で劇的な効果も期待できる t.P.A ですが実際に使われているのは脳梗塞患者さんの 5% 以下にすぎません。その最大の理由は時間的な制約で、この薬剤は発症後 3 時間以内しか使用できませんでした (2012 年 9 月からは 4.5 時間に延長されました)。また、他にも使用には様々な制約がある薬剤です。

この t.P.A 血栓溶解療法を行うことができなかったり、また行ったが血管の再開通が得られなかった患者さんに 2010 年から行うことができるようになったのが Merci (メルシー) 血栓回収療法です。当センターでもいち早く治療できるように体制を整えました。太ももの動脈からカテーテルを入れ、エックウス線を確認しながら詰まった血管の先端まで進め、カテーテルの先端からせん状に変形するワイヤーを出し、このらせん部で血栓を絡め取って回収する方法です。この治療は発症後 8 時間まで行うことができますし、t.P.A よりも制約が少ない治療です。ただこの治療も万能ではなく、血栓がうまく回収できないことや、動脈硬化の強い高齢者の方ではカテーテルを進めるのが困難なこともあります。

今後も日本で新しい器具 (ステント型血栓回収器具) が使えるようになる見込みです。更なる治療成績の向上が期待されます。当院脳脊髄センターではこれからも最先端の医療を安全に地域の方に受けていただきたいと思います。

脳脊髄センター 脳神経外科 岩本 芳浩

「わくわくWORKセミナーに参加して」

木津中学校では中学 1 年生を対象に、将来の進路設計や生き方を考え、職業や働くことへの関心を深めるため「わくわくWORKセミナー」が開催されています。その講師の一人として、仕事に必要な力・資格、仕事のやりがいや苦勞などについて看護の分野に興味のある約 20 名の生徒を対象に講義をさせていただきました。生徒たちは講義には熱心に耳を傾け、病院から持参した血圧計・聴診器等に触れ興味深そうに目を輝かせていました。後日、中学生より「勉強もきらいだし、看護師になるのは大変だけど、今日の話聞いて、前よりも看護師になりたいと思いました。」「職場体験に行ってみたい」との感想をいただきました。

私自身も大好きな看護という仕事に、多くの生徒に興味をもっていただくことができ素敵な時間を過ごすことができました。

7 階病棟 津熊 純子



中学校の職場体験を受け入れて

山城病院では、組合の構成市町村中学校の職場体験を、春と秋に受け入れています。今回は秋の部として、10月30日から11月9日の間に、泉川・木津南・笠置・山城の生徒達、総勢17名が来られました。「将来看護師になりたい。」「医療職に興味がある。」等体験に臨む動機は違いますが、それぞれに期待感を持っておられました。

きたくなった。」「ここで働いてみたいと思った。」など嬉しい言葉をいただきました。今回体験した事が将来進路を考える時の何らかのきっかけになれば幸いです。元氣いっぱいの中学生と過ごせた数日間には職員も逆にエネルギーを頂いたように思います。

看護部



体験の内容としては、医師・看護師のみでなく、薬剤師・管理栄養士・診療放射線技師・臨床検査技師等、病院内や隣接する老健やましろも見学し、多くの職種をみて頂きました。実際、臨床工学技士により人工呼吸器に触れたり、作業療法士・理学療法士・言語聴覚士達によりリハビリを体験させてもらいました。又、新生児室や手術室・集中治療室・救急室など、通常では出入りできない場所にも見学に入り、「赤ちゃんがすぐかわいかった。」「手術室すごかった。」と感動しきりでした。いろいろな職種の職員が生き生き働く姿を見て、「ますます看護師として働

平成24年度災害訓練のご報告

平成24年11月9日(金) 17時30分より災害訓練を施行いたしました。今回の参加人数は約60名でした。例年は地震や火災など自然災害に対する訓練が行われておりました。そこで今回は局地災害に目を向け、山城病院に隣接する木津駅で列車衝突脱線事故を想定した机上訓練を行いました。

訓練の前半は、Googleの地図を拡大印刷して貼り付けた地図に、看護部災害委員の皆さんで作っていただいた救急車やパトカーの駒を使い、被災者搬送の方法や救急車両の導線等



について、各テーブルで議論していただきました。日頃見慣れているはずの木津駅周辺の地理ですが、駅の東側(木津高校側)へ被災者が救出された場合、どのルートで山城病院に搬

送するかは各テーブルで様々な意見が飛び交い、山城病院のLocation故のユニークな発想を持った意見もありました。柵やポールなど障害物が多く、簡単に駅の東西を行き来できないことを改めて実感していただけたと思います。



訓練の後半は、トリアージ表を見ながら、机上トリアージ訓練を行いました。あくまでもトリアージなので、実際の救急とは異なる観点に戸惑われた方々もおられました。そこが災害医療と平時の救急医療との違いであることを垣間見ていただけたのではないかと思います。

最後に参加いただきました皆さん、また準備していただきました委員会の皆さんに改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

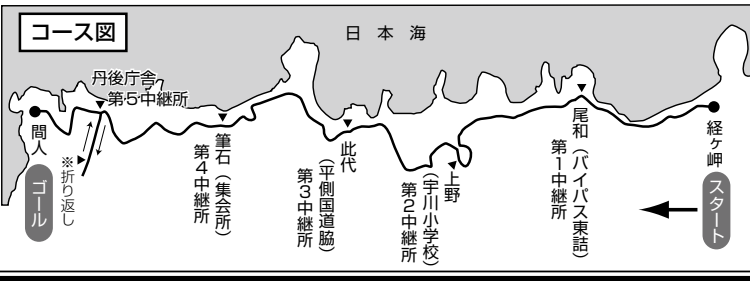
災害対策委員会 佐々木 康成

京都府市町村職員厚生会 駅伝大会

丹後半島



昨年12月に山城病院と老健やましろから精鋭が集まり、丹後半島で行われる駅伝大会に出場してきました。職員の健康増進のため福利厚生の一環として行われており、毎年参加しています。京都北部に位置する丹後半島の海岸線を6区間6人で樺(たすき)をつないで18・5kmを走ります。風光明媚なコースであります。アツプダウンのあるハードなコースになっています。今回の参加チームは京都府内の市町村役場、消防、病院等の職員で構成され55チームが参加し、当院からは女子チームを含め4チーム出場しました。大会当日は丹後半島らしい厳しい寒さの中、選手は熱い気持ちを持って樺をつなぎ、地元の方々から温かい声援をいただき、チーム一丸となり奮闘することができました。尚、今回から京都府の方なら参加できるようになりました。今年是非みなさんも丹後半島の景色を楽しみながら一緒に走ってみませんか。



5階病棟紹介



皆さんこんにちは。今回は、5階病棟をご紹介致します。5階病棟は脳外科、整形外科を主体とする病棟です。整形外科の診察が再開して約一年が経過しました。整形外科がなかった数年間、住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。現在私たち看護師は、怪我をされた患者様が、少しでも早く社会復帰出来るよう日々奮闘しています。

脳外科・整形外科の患者様は、麻痺や怪我で体の一部が動かせない方が殆どです。一度失った機能は一筋縄で戻りません。そのため患者様のリハビリでの頑張りが、ご家族のご協力が不可欠です。自分で歩く、食事をする。そんな当たり前のことが健康のパロメーターになります。私たちは、医師をはじめ理学療法士、地域連携室と協力して、患者様のQOLの向上を目指して日々サポートしています。

5階病棟 副看護師長 山本 雅子

平成24年度 院内研究発表会を終えて

平成24年度院内研究発表会が12月8日(土曜日)に開催されました。今年度は15部署16演題の発表があり、総勢136名の参加がありました。

研修医からは症例研究と肺高血圧症治療に関する研究・臨床検査科及び放射線科は検査の質・精度向上のための研究・臨床工学室からASV導入患者の在宅におけるかかわりの研究がありました。そして看護部からは、看護の質の向上や満足度の高い看護を提供するための研究がありました。特にリハビリテーション科の脳血管障害患者の自動車運転再開に関する研究や、老健やましろでの、排泄の自立に向けての取り組みと成功例の研究は、公立山城病院や老健やましろに入院・入所されている地域住民の皆様に対し生活の質の向上を目指して元気にすごしていただきたいという思いの表れではないかと感じております。研究発表を通して日頃の診療・看護・入院に関して専門的な知識を持つものが、それぞれの立場を通しての発表であったと感じております。今後も良質な医療・看護を提供するため研究を続けていきたいと思います。

広報担当委員 村上 美代子



インフルエンザ 流行期に備えて

インフルエンザはどのようなうつるのか

飛沫感染

インフルエンザに罹った人が咳などをした時に飛ぶしぶきや鼻水が直接、他の人の口や鼻、目に入るとインフルエンザウイルスに感染する。飛沫は咳によって1〜2m飛散する

接触感染

感染した人が咳を手で押さえた後や、鼻水を手でぬぐった後に、ドアノブや手すりなどを触り、その場所を他人が触り、手にウイルスがついていると知らずに口や鼻、目を触ることなどでインフルエンザウイルスが体内に入り感染する

インフルエンザに『かからない、うつさない』ために

- ① 手洗い、うがいの徹底
- ② 体調管理
- ③ 咳エチケット
- ④ 流行前のワクチン接種



このような症状の時に 診察を受けましょう

- ① 38度以上の発熱
- ② 咳やのどの痛み
- ③ 全身の倦怠感

重症化のサインは？

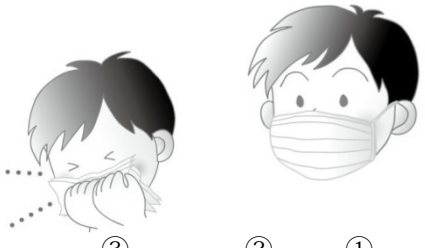
- ① 呼吸困難や息切れがある
- ② 胸の痛みが続いている
- ③ 嘔吐や下痢が続いている
- ④ 症状が長引いて悪化してきた



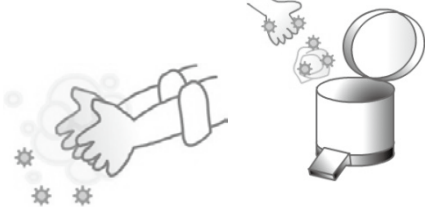
今年もインフルエンザの流行シーズンとなりました。インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年、1千万人(10人に一人)が感染します。今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。

インフルエンザウイルスに強い方も、いらつしゃいますが、弱い方も、いらつしゃいます。弱い方にとっては、大変恐ろしい病気です。感染予防、拡大防止に、受診時には必ずマスクの着用をお願いします。

咳エチケットとは、他の人にうつさないためのマナーです。



- ① 咳やくしゃみが出るときはマスクを着用する。
- ② マスクをしていない時にはティッシュペーパーなどで口と鼻をおおい、他の人から顔をそむけて1m以上離れる。
- ③ 鼻水などが付着したティッシュペーパーなどはごみ箱に捨て、手洗いを行う。



靴と足の変形

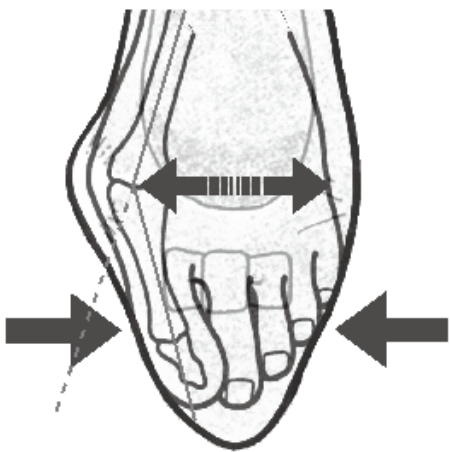
足が危険にさらされています

皆さんが靴を購入される時はどのように決めていきますか。デザインが気に入ったから。履いた感じが良かったからですか。少しくらい大きくても購入していませんか。足の変形である外反母趾・扁平足・浮き指・内反小趾などと靴は大きく関係しています。たとえ長さがぴったり合っているでも、幅が広ければ、靴の中で足がその分余計な動きをしてみます。ですから長さだけの選び方ではなく、24センチの靴が大きければ、同じ24センチで幅の細い靴も試してみるべきです。幅を考えずに、いきなり長さだけ大きくしてしまったのでは、ぴったりの靴どころか、ほとんど自分の足とかけ離れた靴を選ぶこととなります。「痛いから」といって「ゆとり」を求め、幅の大きな靴を履くと、外反母趾が悪化してまいります。靴はデザインと長さだけを見て買ってしまおうのではなく、もっとこだわって選んで下さい。今回は靴の履き方です。

リハビリテーション科

理学療法士・フットケアトレーナー

岡村孝文



<あなたも禁煙しませんか>



当院では、平成24年10月から禁煙外来を行っております。診察時間は毎週金曜日の午後(予約制)となっており、「禁煙治療のための標準手順書第5版」に従って診療を行い、約3ヶ月間で計5回受診していただきます。合計費用については、5回受診していただいて3割負担の方は20,000円程度、1割負担の方は7,000円程度となります。禁煙治療を保険で受けるにはいくつか要件があるため、予約を取る前に喫煙歴等について簡単に問診をさせていただきます。

【予約方法】

- お電話あるいは正面受付等で「禁煙外来予約希望」とお申し出下さい。
- ※「公立山城病院」電話(代)0774-72-0235(予約受付時間 平日9~17時)
- ※受診中の方は、主治医に「禁煙外来予約希望」とお申しだけでも結構です。

【その他】

- 禁煙外来の初回受診の際は、禁煙の支援者となっていただけるご家族等と受診していただくことをお勧めしています。
- 完全予約制となっておりますが、診察が予定より遅れる場合がございます。あらかじめご了承下さい。